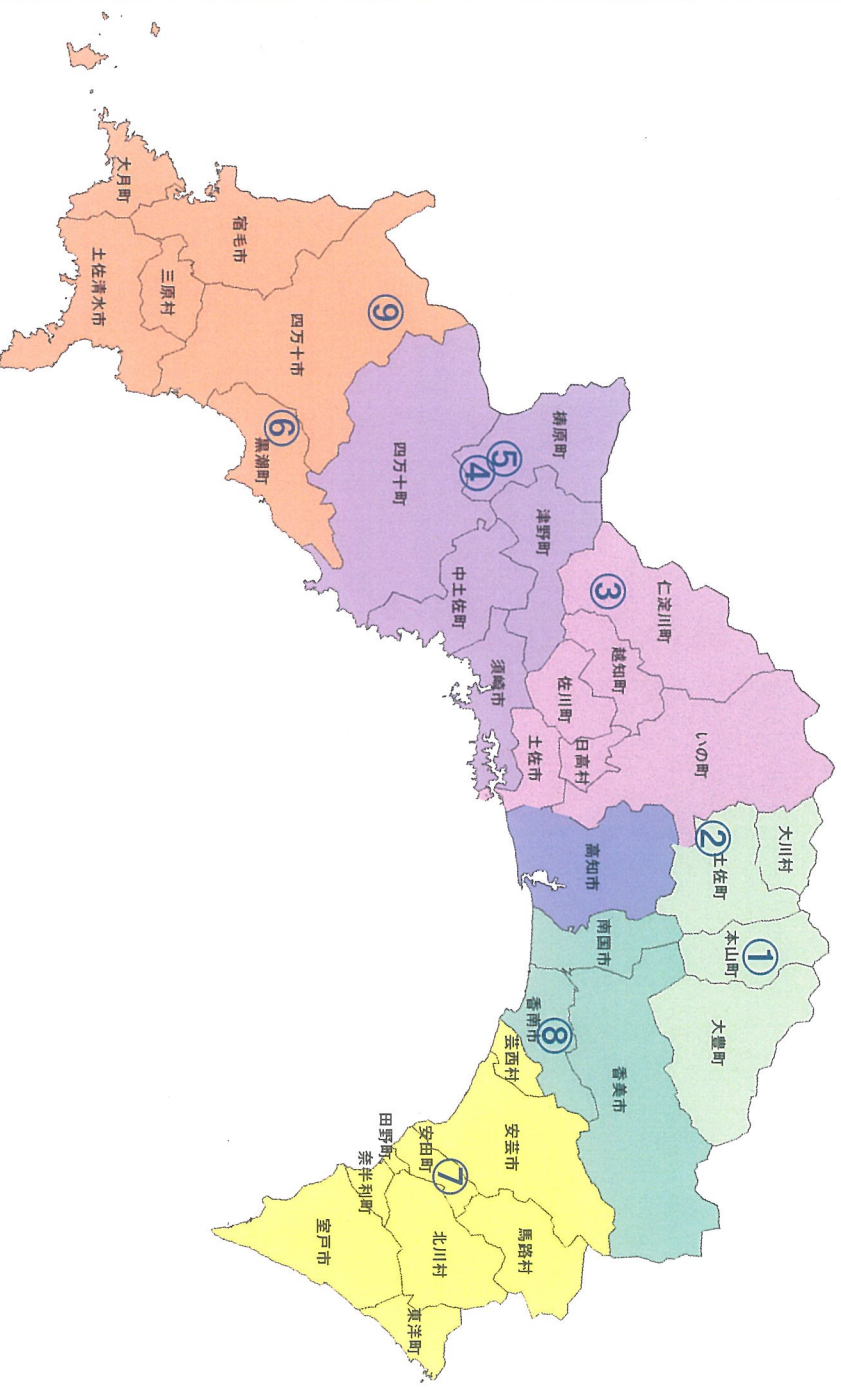


地区（予定）開所センター活動集落（～H25年度第1四半期）



NO.	市町村名	地区名	構成集落 (集落数)	人口	世帯数	高齢化率	開所時期	名称 (拠点施設)	実施主体 (事務局スタッフ)
①	本山町	汗見川	立野、坂本、屋所、沢ノ内、瓜生野、七戸(6)	206	100	59.0	H24.6.17	集落活動センター「汗見川」 (汗見川ふれあいの郷 清流館)	汗見川活性化推進委員会 (高知ふるさと応援隊1名)
②	土佐町	石原	有間、峯石原、西石原、東石原(4)	391	190	46.5	H24.7.1	集落活動センターいしはらの里 (石原コミュニティーセンター(旧石原小学校))	いしはらの里協議会 (高知ふるさと応援隊2名)
③	仁淀川町	長者	木半夏、宮首、中ノ瀬上、中ノ瀬下、古田、石井野、打置、西古城山、東古城山、寺野、竹谷、宮ノ坪、日鉄宮ノ坪、五味谷(14)	698	297	35.0	H24.12.1	集落活動センター「だんだんの里 (だんだんの里)」	だんだんくらぶ
④	構原町	松原	大向、中平、上久保谷、下久保谷、松原、島中(6)	302	153	61.9	H25.1.12	集落活動センター「まつばら」 (松原ふれあいてんター)	集落活動センター「まつばら」推進委員会 (高知ふるさと応援隊2名 ※「はつせ」との業務を含む)
⑤	構原町	初瀬	上折渡、下折渡、影野地、大野地、佐渡、初瀬本村、中久保(7)	145	69	49.6	H25.1.12	集落活動センター「はつせ」 (鷹取の家)	集落活動センター「はつせ」推進委員会 (高知ふるさと応援隊2名 ※まつばらとの業務を含む)
⑥	黒潮町	北郷	大屋敷、本谷、大井川(3)	142	66	49.3	H25.3.5	集落活動センター北郷 (旧北郷小学校)	北郷地区協議会 (高知ふるさと応援隊1名)
⑦	安田町	中山	間下、内京坊、正弘、別所、中ノ川、西ノ川、与床、小川、中里、船倉、瀬切、日々入(12)	594	285	46.0	H25.4.1	集落活動センターなかやま (旧中山小学校)	中山を元気にする会 (高知ふるさと応援隊1名)
⑧	香南市	西川	口西川、中西川(2)	418	178	47.5	H25.4.12	西川地区集落活動センター (西川公民館)	西川地区集落活動センター推進協議会 (高知ふるさと応援隊1名予定(H25.6月～))
⑨	四万十市	大宮	大宮上、大宮中、大宮下(3)	294	136	47.6	H25.5.26 予定	名称未定(算集中) (緒大宮産業)	大宮地域振興協議会 (高知ふるさと応援隊3名)

◆集落活動センターの取り組み状況について

NO.	市町村名	地区名	構成集落 (集落数)	人口	世帯数	高齢 化率	開所 時期	名称 (拠点施設)	実施主体 (事務局スタッフ)	取り組み内容(予定を含む)
1	本山町	汗見川	立野、坂本、 屋所、沢ヶ 内、瓜生野、 七戸(6)	206	100	59.0	H24.6.17	集落活動センター 「汗見川」 (汗見川ふれあいの 郷 清流館)	汗見川活性化推進委員会 (高知ふるさと応援隊 1名)	○生活支援サービス、安心・安全サポート(買い物支援、見守り活動など高齢 者を地域で支える仕組みづくり) ○防災活動(地域防災体制の充実、ヘリポートの活用) ○観光交流活動(魅力ある交流施設の整備、新たな交流イベントや体験メニ ューの実施) ○農林水産物の生産・販売(薬草の栽培、野菜の共同出荷) ○特産品づくり・販売(シソジュース等既存特産品の販売強化、山菜やシカ肉 を活用した新たな特産品づくり等)
2	土佐町	石原	有間、峯石 原、西石原、 東石原(4)	391	190	46.5	H24.7.1	集落活動センター いしはらの里 (旧石原小学校)	いしはらの里協議会 (高知ふるさと応援隊 2名)	○集落活動サポート、生活支援サービス(集出荷等と連携した移動サービス、 SS運営等) ○安心・安全サポート、健康づくり活動(あったかふれあいセンターと連携した 旧保育所・集会所での「集い」等) ○防災活動(地域防災拠点の整備) ○観光交流活動・定住サポート(旅館跡等を活用した喫茶、居酒屋等の運営 等) ○農産物等の生産・販売、特産品づくり・販売(加工品の開発・販売、直販所の 開設等)
3	仁淀川町	長者	木半夏、宮 首、中ノ瀬 上、中ノ瀬 下、古田、石 井野、打置、 西古城山、 東古城山、 寺野、竹谷、 宮ヶ坪、日 鉄宮ヶ坪、 五味谷(14)	698	297	35.0	H24.12.1	集落活動センター だんだんの里 (だんだんの里)	だんだんくらぶ	○生活支援サービス、安心・安全サポート(見守り活動など高齢者を地域で支 える仕組みづくり、大学との連携による夏休み学習塾等) ○防災活動(地域防災体制の充実、ヘリポートの活用) ○観光交流活動(農家レストランの営業、キャンドルナイトなど交流イベントの実 施等) ○農産物等の生産・販売、特産品づくり・販売(無農薬野菜等棚田ブランドの農 産物の生産、特産品づくり等)
4	梶原町	松原	大向、中平、 上久保谷、 下久保谷、 松原、島中 (6)	302	153	61.9	H25.1.12	集落活動センター まつばら (松原ふれあいセン ター)	集落活動センター「まつばら」推 進委員会 (高知ふるさと応援隊 2名 *「はつせ」との兼務を含む)	○集落活動サポート(共同作業の支援体制づくり、地域の祭りごと等) ○生活支援サービス(SS運営、過疎地有償運送や配食サービスの取り組み、 買い物支援、高齢者を支える仕組みづくり) ○健康づくり活動・集いの場の確保(いきいきふれあい広場、健診受診率向上 の取り組み、あったかふれあいセンター機能) ○防災活動(自主防災組織の充実、ヘリポートの活用) ○鳥獣被害対策(鳥獣被害に強い集落づくり、サポーター育成) ○森林セラピーを核とした観光交流活動(メンタルヘルスの取り組み、松原診 療所、企業との連携、交流、体験の推進) ○農林水産物の生産・販売、特産品づくり・販売(新たな特産品づくり、農産物 をお金に換える仕組みづくり) ○産地・人づくり(農業研修・体験の実施、研修生の受け入れ、集落営農の推 進、中山間直接支払制度の活用)
5	梶原町	初瀬	上折渡、下 折渡、影野 地、大野地、 佐渡、初瀬 本村、仲久 保(7)	145	69	49.7	H25.1.12	集落活動センター はつせ (鷹取の家)	集落活動センター「はつせ」 推進委員会 (高知ふるさと応援隊 2名 *「まつばら」との兼務を含む)	○集落活動サポート(共同作業の支援体制、地域の祭りごと等) ○生活支援サービス(過疎地有償運送や配食サービスの取り組み、買い物支 援、高齢者を支える仕組みづくり) ○健康づくり活動・集いの場の確保(見守り活動、いきいきふれあい広場、受診 率向上の取り組み、あったかふれあいセンター機能) ○防災活動(自主防災組織の充実) ○鳥獣被害対策(鳥獣被害に強い集落づくり、サポーター育成) ○観光交流活動(松原区、西区の森林セラピーと連携した食の里づくり、鷹取 学術保護林や四万十川でのリフレッシュ事業) ○農林水産物の生産・販売、特産品づくり・販売(新たな特産品づくり、農産物 をお金に換える仕組みづくり、新たな農業との連携(企業との連携)、西宮市と 梶原町を繋ぐ商品開発) ○産地・人づくり(農業研修や体験の実施、研修生の受け入れ、中山間直接支 払制度の活用)
6	黒潮町	北郷	大屋敷、本 谷、大井川 (3)	142	66	49.3	H25.3.5	集落活動センター 北郷 (旧北郷小学校)	北郷地区協議会 (高知ふるさと応援隊 1名)	○生活支援サービス(高齢者の入浴支援活動(銭湯)の実施、むらのコンビニ 「天然素材スーパー北郷」の営業) ○安心・安全サポート(あったかふれあいセンター参加者の労働力を活用した 「びんびん作業所」等地域の集いの場づくり) ○防災活動(避難所宿泊体験の実施、地域防災のシステム化、アプローチライ トの設置等) ○観光交流活動(納涼祭や菜の花祭等既存交流イベントの強化、北郷大 学、ピクニックウォーク等新たなイベントの開発) ○特産品づくり・販売(米飴の販売強化、地域素材を活用した新たな特産品づ くり)
7	安田町	中山	間下、内京 坊、正弘、別 所、中ノ川、 西ノ川、与 床、小川、中 里、船倉、瀬 切、日々入 (12)	594	285	46.0	H25.4.1	集落活動センター なかやま (旧中山小学校、 味工房じねん、 せせらぎの郷小川、 安田町中山支所 (中山公民館))	中山を元気にする会 (高知ふるさと応援隊 1名)	○生活支援サービス、安心・安心サポート(見守り活動の実施、「味工房じね ん」への農産物の集荷、買い物・外出支援) ○防災活動(災害時に向けた水・食糧の備蓄、防災研修の実施) ○鳥獣被害対策(農地見回りサービスの展開、有害鳥獣対策による農産物被 害の軽減) ○観光交流活動(中山まるごと自然塾の開催、日本一の鮎つかみ取り体験ツ アーの実施、カヌー体験イベントの実施) ○特産品づくり・販売(自然薯を活用した地域産品づくり、イベントでの地域産 品の販売) ○地域伝統文化の保存・継承(そば打ち・田舎こんにやく作り体験、小川獅子 舞の体験・習得)
8	香南市	西川	口西川、中 西川(2)	418	178	47.5	H25.4.12	西川地区 集落活動センター (西川公民館)	西川地区集落活動センター推進 協議会 (高知ふるさと応援隊 1名)	○生活支援サービス、安心・安全サポート(買い物支援や見守り活動など高齢 者を地域で支える仕組みづくり) ○鳥獣被害対策(防護ネットの設置) ○観光交流活動(地区内外の交流活動の強化、新たな交流イベントの実施) ○農林水産物の生産・販売(休耕田や耕作放棄地を活用した農産物の生産・ 販売) ○特産品づくり・販売(新たな特産品づくり)
9	四万十市	大宮	大宮上、大 宮中、大宮 下(3)	294	136	47.6	H25.5.26 予定	㈱大宮産業	大宮地域振興協議会 (高知ふるさと応援隊 3名)	○集落活動サポート(農地、山林、家屋等の共同管理、草刈り等の共同作業 サポート、葬祭事業) ○生活支援サービス(食料品等の店舗の充実、宅配サービスの充実、移動販 売の実施、買い物支援等) ○安心・安全サポート(見守りの充実、福祉サービスの充実) ○防災活動(地域防災体制の充実、災害時、緊急時の体制整備等) ○観光交流活動・定住サポート(交流イベントや体験メニューの実施、住民憩 いの場づくり(交流サロン)、滞在、交流の受け入れ体制づくり、おためし滞在・ 移住交流の推進、若者定住・移住相談・受入窓口の開設、空家調査、婚活イ ベントの実施) ○農林水産物の生産・販売(野菜の庭先集荷・出荷・販売促進、契約栽培の実 施(学校給食等)、遊休農地、間伐材の活用) ○特産品づくり・販売(地域資源を活用した加工品等の特産品づくり、米のブラ ンド化・販路拡大、ふるさと便の販売) ○エネルギー資源活用(自然エネルギーの導入検討) ○環境保全活動(環境美化活動) ○ネットワークの拡大(地域情報の発信、ふるさとインターンの実施、大宮ファ ンづくり・サポーターづくり)

重点テーマ【小さなビジネス及び拠点ビジネス】の進め方

1. 当重点テーマの目的

- 「小さなビジネス」の発掘、育成を促進し、中山間地域における住民力を高め、地域の元気づくりを進める。
- 「小さなビジネス」を集めたり、発展させるための「拠点ビジネス」の発掘、育成を併せて促進し、雇用創出に向け地域の核となって産業づくりを進める事業体を創出する。

2. 取り組みの内容

小さなビジネス

- ◆今回、本部で取り組む小さなビジネス
中山間地域（県内）の農林水産物やその加工品のうち、主に地域や県内に留まっているもので、県の支援が必要、または支援による効果があると考えられる取り組み。
「こうち型集落営農」などが集落の範囲内で行う取組は、小さなビジネスの活動に位置づけする。

- ◆対象範囲
業態は、ものづくりを基本とし、エリアは、中山間地域を基本とする。

◆取り組みの実施手順

- 各地域本部で、市町村や農業振興センター等と協議のうえ、地域における小さなビジネスの事例のピックアップ及び優先的な取り組みの整理
↓
- 各地域本部において進捗状況をチェック
↓
- 情報共有や課題解決に向けた庁内推進チーム会議の開催（随時）
↓
- 中山間総合対策本部で、年2回の報告（中間報告、最終報告）を行う。（8月、2月）

拠点ビジネス

◆拠点ビジネスの定義

『第三セクターや農協など、地域の中核的な事業体を中心として、野菜や加工品の製造販売や、グリーンツーリズムなどの観光の取組など、いくつかの「小さなビジネス」を集約しながら、地域経営を行う多角的なビジネス』

なお、「こうち型集落営農」のうち、集落の範囲を超えて周辺地域等と連携した活動については、拠点ビジネスの活動に位置づけする。

◆今回、本部で取り組む「拠点ビジネス」

- 地域アクションプランに位置付けられている取り組み
・拠点ビジネスとして取り組んでいる事業（11事業）
・拠点ビジネスになるべく、現在、仕組みづくり等を行っている事業
- 地域アクションプランへの位置づけを目指して、「拠点ビジネス」の仕組みづくりに取り組む事業

◆取り組みの実施手順

- 地域アクションプランに位置付けられている取り組みについては、地域アクションプランにより進捗を図る。
- 地域アクションプランへの位置づけを目指している取り組みについては、地域本部（関係支援チーム）の日頃の活動の中で、新たな「拠点ビジネス」の可能性を探り、必要なサポートを行う。
- 進捗状況について、産業振興推進本部と中山間総合対策本部で説明。（重複にならないように調整）

鳥獣被害対策の取り組み

1 取組状況

○野生鳥獣に強い集落づくり

- ・重点11集落の育成：集落学習会・集落環境点検等の実施、住民施工による防護柵の設置
- ・鳥獣被害対策専門員の育成：管内の被害状況把握及び巡回指導の実施

○シカ捕獲対策の推進

- ・わな名人講習の実施：県内10市町村で実施（参加者数394名）

○狩猟者の確保

- ・狩猟免許臨時試験の実施：試験5会場に加え、3会場での臨時試験実施による狩猟者掘起し

○捕獲鳥獣の有効活用

- ・課題整理及びジビエのPR：ジビエ料理研究会活動、ジビエフェアの開催支援

【具体的な成果】

- ◆シカ捕獲数（集計中） 約15,000頭（H23：13,468頭）
- ◆狩猟免許合格者数 432名（うち臨時試験合格者122名）（H23：336名）
- ◆捕獲シカ有効活用頭数 215頭（H23：130頭）

課題

- ◆被害集落の住民と一体となった捕獲推進による鳥獣被害の農林業被害の軽減
- ◆狩猟者の確保と狩猟効率の向上によるシカ3万頭捕獲対策
- ◆重点集落の育成と鳥獣被害対策専門員活動の充実強化による県内全域への波及
- ◆捕獲鳥獣の有効活用に向けた、安定供給体制づくりと消費の拡大

2 平成25年度の取り組み

○集落ぐるみの捕獲推進

鳥獣被害のある集落に”くくりわな”を配布し、集落ぐるみの捕獲体制の確立を目指す。

- ・わな配布数 5,000個

- ・配布集落 市町村を通じて、被害の大きい集落から順次配布

- ・わな捕獲講習会の開催 わな配布に合わせ、県内50ヵ所で講習会開催

【成果目標】わな配布集落における農林業被害の軽減、集落ぐるみの捕獲体制の確立

NEW

○新規狩猟者の確保と捕獲技術の向上

狩猟免許試験実施回数増による受験機会の拡大、出前試験の実施による狩猟者の掘り起こし
名人のわな製作技術講習会開催による捕獲効率の向上

止めさし・解体講習会開催による捕獲鳥獣の有効活用

- ・狩猟免許試験実施回数 8回（H24：5回＋臨時試験3回）＋出前試験
- ・わな製作技術講習会 10回
- ・止めさし・解体講習 4回

拡充

【成果目標】シカ捕獲3万頭の捕獲体制の確立

わな狩猟者500人の確保（県内狩猟者3,400人）狩猟者1人当たりシカ捕獲数8頭（←4.5頭）

狩猟者3,400人 × 平均8頭 + 銃猟捕獲頭数4,000頭 = 31,200頭

○野生鳥獣に強い集落づくりの推進

新規重点 10 集落を選定し、集落全員学習会、集落環境点検等の実施によりモデルとして育成
県内全域に波及するため、鳥獣被害対策専門員 12 名 (H24: 10 名) による巡回集落を重点的に育成

・ 重点集落数 H25 新規 10 集落 + H24 継続 4 集落

・ 重点集落の波及 鳥獣被害対策専門員による県内 100 集落以上の育成

【成果目標】

拡充

重点集落及び鳥獣被害対策専門員の巡回指導集落における農林業被害の軽減

○捕獲鳥獣の有効活用

県内の食肉加工・流通業者・販売店における実態調査

レストラン・集落活動センター等地域グループ等料理提供店での意向調査の実施

・ ジビエ料理研究会によるメニューの研究・開発、人材育成

・ ジビエコングレスの実施

・ 県内全域でのよさこいジビエフェア H26. 2 の 1 月間

【成果目標】

NEW

供給体制及び消費拡大に向けた流通ルートの開発

ジビエの消費拡大

「移動手段の確保対策」平成 25 年度の取組目標と予定

1 取組目標

- ・本年度実証運行を実施予定の市町村の取組が、今後の本格運行に円滑に移行できるように、国の補助金の活用も含めて支援する。
- ・新たな移動手段の確保対策について検討中又は未検討の市町村にも、出張ミニ研修等を活用していただきながら、積極的に支援を行うことで、来年度以降の取り組みにつなげる。

2 取組予定

(1) 中山間地域生活支援総合補助金(移動手段確保支援事業)

本年度当補助事業を活用予定の市町村へのサポート

4 月 1 日～実証運行中(2):高知市、中土佐町

本年度中に実証運行予定(7):馬路村、香美市、南国市、須崎市、四万十市、宿毛市、土佐清水市

車両購入予定(3):安芸市、香南市、仁淀川町

中山間地域生活支援総合補助金(H24 当初 230,224 千円→H25 当初 315,840 千円)
〔うち移動手段確保支援事業 H24:12,654 千円→H25:61,000 千円〕



(2) 自家用車有償運送運転手賃格取得講習会開催

受講が義務付けられている運転者講習会の受講料(過疎地有償運送及び市町村運営有償運送 12,600 円、福祉有償運送 14,700 円)の受講者一人当たりの負担額を 5,250 円とし、その差額を県が補助するメニューを上記 (1) に加えることで、NPO 等が運転者の確保を図ることを支援する。

補助対象者:(株)高知中央自動車学校(県内唯一の国土交通大臣認定事業者)
開催回数:過疎地有償運送、市町村運営有償運送→6回程度(1 日間)
福祉有償運送→2回程度(2 日間)
予算額:840 千円

(3) 各種研修会の開催

・市町村職員等研修会(座学研修・情報交換会)

平成 25 年 5 月 24 日(金) 10:00～17:00 県民文化ホール 第 6 多目的室

・先進事例視察研修会

県外の先進地(岡山県内の 2～3 市町村)を視察予定(7～8 月)

・市町村を訪問する出張ミニ研修会

事前に要望のあった市町村等を訪問し、交通に関する法制度や許認可、国・県の補助制度などについて、個別に研修を行うことを今年から開始。

(4) 「中山間地域における移動手段確保対策の手引き」を 7 月改訂(平成 25 年 4 月 1 日現在)説明内容の拡充、市町村の取組事例の追加等

(5) アドバイザーによる市町村等の支援

移動手段支援に関するアドバイザー 8 名(学識経験者、高知運輸支局、高知県ハイヤー協会、NPO)を委嘱し、市町村やNPOなどが新たな取組を始めようとする段階での支援や課題解決に向けたバックアップを行う。